



CIESF NEWS LETTER

2011 November 第7号 - 創刊1周年号 -

公益財団法人CIESFは、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

【教育に関する格言⑦】

子供の教育については、勉学の欲望と興味を喚起することが一番大切である。

でないとは結局、本を背負ったロバを養うことになる。

-モンテーニュ(フランスの思想家)

昨年11月に創刊してから、1周年号となりました。CIESF ツアーセブのニコラステアです。これから奇数月に発行してまいります。読んでくださる皆さまに感謝申し上げます。これからもよろしく願っています。

CJBSが正式に開校しました！

日本語とビジネスを学べる学校、CJBS カンボジアンジャパンビジネススクールの約300人の生徒を迎えて正式に開校し、10月1日に開校式&入学式が行われました。7月にプレオープン。

カンボジアへは海外からの投資が年々増え、日本の企業も進出の一途をたどっています。そこで必要となるのが現地スタッフなどの人材。CJBSは、日系企業のスタンダードとなりうる人材を育成するために、日本語とビジネスについて学べる学校として開校いたしました。運営は、現地NGO CJBSが行い、昼の1年コースは全生徒の授業料が無料です。社会人等が通う夜間コースは有料となります。CIESFは将来のカンボジア経済をけん引する人材育成活動として、このCJBSを支援しています。カンボジアの若者たち、日本語と共にビジネスマナーやスキルを身につけ、卒業後に日本企業等で活躍してくれることを期待しています。



開校式の中で、生徒代表スピーチなどが、大変素晴らしい日本語で行われました。また、先生や生徒たちの、日本語の歌の披露もあり、明るく元気な式になりました。

式典の様子は、動画サイトYouTubeにアップロードしていますので、検索してみてください(検索欄に「CJBS開校式」と入力ください)。



災害募金ののお礼とご報告

3月11日に発生した東日本大震災では、まだまだ多くの方々が、復興の途上にあります。CIESFでは、3月15日より義援金の募集を行ってまいりました。皆さまの温かいお気持ちのおかげをもちまして、3月末までに24万8200円という多額の募金をいただきました。その後半年間で、更に8万2000円の災害募金をお預かりしましたので、第2回目として、9月30日に、日本赤十字社へお送りいたしました。私どもの呼びかけに、賛同くださった多くの方々、誠にありがとうございました。被災地の一日も早い復興をお祈り

りすることにも、CIESFでは災害募金を今後も続けて行きます。CIESFのウェブサイトに随時ご報告させていただきますので、今後ともよろしく願って申し上げます。

ミャンマーのICTビジネスラウンコンテストの表彰式を行いました！

民主化が進むミャンマーにおいて、今年第1回目のICTビジネスラウンコンテストが開催されました。CIESFとMCF(ミャンマーコンピュータイフテレーション)の共催で、ICT分野に特化したさまざまなビジネスラウンを募集しました。



今回は、モバイル機器を利用した市場情報例えは金価格、為替レートなどをオンラインで提供するサイト(Market)を構築して利用者から利用料を取るビジネスラウンが1位となりました。ミャンマーでは、



表彰式の様子：優勝者へは、CIESFから賞金が出された証としてのボードを大久保理事長が手渡しました

一般事業分野に関してのビジネスラウンコンテストも開催中です。CIESFでは、ミャンマーの若者の人材育成にも取り組んでまいります。

チャリティ活動のお礼

トレントマイクロ株式会社(東京都渋谷区)において、9月と10月の2カ月間に渡ったチャリティ活動により、CIESFに多額の寄付をいただきました。自宅から売れそうなおもちゃを持ち



活動でチャリティ大会を開催したり、社員の方々がチャリティイベントを盛り上げて、カンボジアをご支援くださいました。スタッフ一同からお礼申し上げます。

社員みんなで楽しんでチャリティ活動をやってみたい！チャリティ活動を通して社員の結束を！等々考えの企業様、ぜひご連絡ください。

教育アドバイザー募集

現在7名の日本人の先生が教育アドバイザーとして、ブロンベンとフレイベンの教員養成校で活躍されています。先生たちの活動は着実に実を結びはじめています。7名の先生たちに続く、教育アドバイザーを現在募集中です！教師経験者の方、お待ちしています！スタディーツアーを開催します！

教育アドバイザー希望の方を対象に毎年開催している、カンボジアスタディーツアー。今回は、11月21日から29日の9日間で開催します。前回(2011年3月)のツアーは、東日本大震災直後の出発ということもあり、参加できな方もいらっしゃいました。今回のツアーでも、現地で現地の教育現場を見学したりといった、CIESFならではの日程を組みました。カンボジアの教育の現状を体感してもらい、最後には、アンコールワットなどの文化に触れて日本に戻ってきます。



前回のツアーにて現地の小学校を訪問しました。観光旅行ではできない経験でした(参加者)

カンボジアオフィススタッフが発信する「現地レポート」、教育アドバイザーの先生たちの日々の活動を綴った「教育アドバイザーの活動日誌」は、CIESFのウェブサイトでも絶賛公開中です！



カンボジアの洪水は、どんな感じでしょうか。内容は、10月17日・25日の「現地レポート」にて。

ぜひ読んでみてください！
<http://www.ciesf.org>

つぶやき！

Twitter @CIESF_Japan

Facebook

CIESFでは、法人と個人のサポーターを随時募集中です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。

法人サポーター・個人サポーター募集中

検索

Facebook ファンページ、その後



おかげさまで、2カ月で60人以上の方々から「いいね！」を押してくれました。より多くの方々遊びに来てくれることを楽しみにしています。コメントなども残していただけただけ嬉しいです。
<http://www.facebook.com/ciesf>
「いいね！」をお願いします。

発行：公益財団法人CIESF 日本事務局
〒107-0062
東京都港区南青山3-17-1 フロムファイブ302
Tel:03-6439-5990 Mail:info@ciesf.org

編集後記

こんにちは。11月8日はカンボジアのカレンダーには存在しない立冬です。いよいよですが、冬将軍。私が、カンボジアに大いなる憧れを抱く理由のひとつに、「冬がない」ということがあります。寒さに耐えるのと、昆虫を食べるなら、後者を選びます。昔、南半球のそこそこ寒い国で秋冬春と過ごし日本に戻って秋という人生の中でも恐ろしい1年がありました。できることなら、この先3カ月は、カンボジアのような場所で生きたいですが、そうもいかないのだから防寒を準備します。冬の節電も叫ばれていますので、文明の利器がなくても寒くならない体づくり、をはじめようと思います。乾布摩擦か？ (Y.M)